

令和7年度 杜陵地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和7年8月6日（水）

No	懇談事項	説 明	担当部課名
1	<p>旧働く婦人の家・旧肴町分庁舎+柄内病院跡地の活用について ※現状と今後の展望</p> <p>旧働く婦人の家の閉館から10年、旧肴町分庁舎閉館から4年が経過し、加えて一昨年の柄内病院移転後の建物もそのまま残っています。景観的な課題もありますが、旧働く婦人の家の外壁が崩落するなど危険な状態にあり、杜陵小学校・とりよう保育園の隣接地としてふさわしい状況とは言えません。</p> <p>このままではさらに老朽化が進み、危険度も増すばかりで、いつまでこの状態が続くのかが懸念されます。</p> <p>働く婦人の家、旧肴町分庁舎、柄内病院跡地それぞれ個々に対応するのではなく、三つを一体化して考えることでその価値が高まり、活用の幅も広がると考えますが、現状をどのように把握され、また今後どのような展望をお持ちか見解をお示しください。</p>	<p>旧働く婦人の家及び旧肴町分庁舎につきましては、老朽化が進行し、特に旧働く婦人の家では外壁の一部崩落が確認されるなど、安全面や景観面で課題があると認識しております。</p> <p>当該施設につきましては、市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画で譲渡等と位置付けられており、現時点では新たな施設整備の予定はないことから、建物解体後の土地売却に向けた検討を進めてまいります。また、民間所有の柄内病院跡地の状況についても、情報共有を図りながら、市有土地の売却方法を検討してまいります。</p>	<p>総務部 管財課 子ども未来部 子育てあんしん 課</p>

令和7年度 杜陵地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和7年8月6日（水）

No	懇談事項	説 明	担当部課名
2	<p>盛岡市の災害対応の検証について</p> <p>※盛岡市ホームページ掲載の『令和6年8月27日大雨災害に係る対応検証』の内容については確認済ですので、全体的な一般論としてではなく、杜陵地区に当てはめた具体的な内容を提示していただければ幸いです。</p> <p>昨年発生した大雨災害時の市の対応について、地域住民の不安が大きくなっています。</p> <p>幸い杜陵地区での被害はありませんでしたが、避難場所に指定されている直近の杜陵老人福祉センターが避難所として開設されず、遠くの避難所まで避難した方もいました。</p> <p>杜陵老人福祉センターが避難所として開設されなかつた事情も含め災害対応についてどのように検証されたのか、またその結果として、新たな施策があればお示しください。</p> <p>また杜陵老人福祉センターは老朽化・収容人員・設備面等、避難所としての機能に懸念を示す方も多いことを付け加えます</p>	<p>令和6年8月27日の大雨災害の際の避難所開設状況につきましては、当該災害時には、当初、被害の状況等から、自主避難所として「河南中学校、玉山地区公民館」を開設し、その後も順次、避難所として「河南中学校、中野地区活動センター、玉山地区公民館、米内中学校、下小路中学校、山岸地区活動センター、加賀野地区活動センター（加賀野児童・老人福祉センター）」を開設したところです（別途、8月28日には新たな災害の恐れが生じたため自主避難所として「河南公民館、加賀野地区活動センター（加賀野児童・老人福祉センター）、山岸地区活動センター、仁王児童・老人福祉センター」を開設したほか、避難所として「上米内児童・老人福祉センター」を開設しております）。</p> <p>避難所の開設に当たっては、人的体制や施設・物資準備等の点から、初動時期の段階で全ての避難所を一斉に開設することや、一度に多数の避難所を開設することは難しいため、降雨や被害等の状況、避難者の状況等に合わせ、安全な場所にある避難所を順次開設することとしております。</p> <p>また、開設する避難所の選定にあたっては、特に初動時期においては、小規模の避難所を多数開設するのではなく、「早期に、より多くの避難者を収容できるよう、収容人数が多い施設などを優先すること」や、「自主避難や早期避難の段階においては遠方からの避難等も考えられる</p>	<p>総務部 危機管理防災課</p>

令和7年度 杜陵地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和7年8月6日（水）

No	懇談事項	説 明	担当部課名
		<p>ため、駐車場が確保できる施設等を優先」して選定を行っております。</p> <p>杜陵老人福祉センターは、発災当時の収容人数が60人(※)となっており、小規模の施設であることや施設駐車場も少ないことから、他の施設を優先して開設したところであり、結果として開設に至らなかったものです。(※ 現在は国の方針により算定基準が変わり収容人数51人となっております。)</p> <p>しかしながら、この大雨災害の対応に係る検証の中で、避難所開設の課題として「開設する避難所の決定や、従事職員等の調整などに時間を要した」、「どの避難所が開設されるのか分からず市民の避難行動に迷いが生じた」、「開設された避難所が遠方であり避難に支障が生じた」などが挙げられております。</p> <p>この課題に対応するため、今般、市では「水害時に優先的に開設する避難所」を事前に定め、公表いたしました。</p> <p>この取組により「優先的に開設する避難所の迅速な開設」や、「市民の皆様の避難行動に迷いが生じないこと」につながるものと考えております、「杜陵老人福祉センター」についても『中津川、北上川（合流後東側）』に洪水のおそれがある場合等に優先的に開設する避難所として位置付けたところです。</p> <p>今後は、施設自体に被害が発生し避難所として使用でき</p>	

令和7年度 杜陵地区まちづくり懇談会 懇談事項

令和7年8月6日（水）

No	懇談事項	説 明	担当部課名
		ない場合や安全を確保できない場合等を除き、「杜陵老人福祉センター」を優先的に避難所として開設することとなりますので、市からの避難情報に御留意いただき、適切な避難行動をお取りいただくことや、「避難に支援が必要な方」への地域の皆様の支援等の御協力をお願ひいたします。	
3	<p>1・2の総括として</p> <p>平成27年(2015)の旧働く婦人の家閉館以降、杜陵地区には調理や軽スポーツなどの出来る代替施設がなく、また洪水被害が想定される地区にもかかわらず、指定避難所も設備・収容人員とも他地区に比べ貧弱且つ老朽化の進んだ杜陵老人福祉センターしかありません。</p> <p>令和2年(2020)より『避難所機能を有する活動センター』について、毎年その時の状況に合わせた候補地を具体的に示すなど、工夫をしながら要望書を提出してまいりましたが、現在のところ希望の灯火は見えておりません。</p> <p>上記の現状から、盛岡市として杜陵地区をどのように位置付け、どのように評価しているのかについて、確認させていただきたい。また、今後杜陵地区に関する施策・計画などあればお示しください。</p>	<p>地区活動センターなどの集会施設等につきましては、市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画に基づき対応しているところであります、同計画において、市内32福祉推進会の単位で、地区活動センター、地区公民館、児童・老人福祉センターなどを活用して地域拠点施設を確保することとしており、杜陵地区的地域拠点施設は、杜陵老人福祉センターとしているところです。</p> <p>市の中心部に位置する杜陵地区は、盛岡城に近接し、古くから人とモノの交流拠点として賑いがあった地区であり、また、新渡戸稻造生誕の地でもあるなど、歴史と文化の薫りを感じる、市の街づくりにおいて重要な地区であると認識しておりますが、地区活動センターをはじめとするこれに類する新たな施設の整備は、現在の厳しい財政状況下では非常に難しい状況であるものと認識しております。</p>	市民部 市民協働推進課